



# 動労千葉

85. 2. 26

No. 1874

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

# 勝利の道だ 突き起つて

## 第一波(2/20)非協力・安全確認行動を叩きぬく

動労千葉は「60・3」を労働者の未来を決する闘いととらえ「60・3」阻止をかねて2月20/21日の両日、第一波の非協力・安全確認行動に決起した。労働運動総体が屈服を深め、ある意味では「81・3闘争」を上まわる厳しい情勢の中で、動労千葉は唯一闘いに決起し、当局の「60・3」強行を阻止する画期的闘いを実現した。闘いぬいた各支部は、いま充実感にひたる間もなく次なる闘いにそなえ準備体制をうち固めている。各支部から闘いの報告が入ったので紹介する。

### 勝利の展望を指し示した闘い

#### 千葉運転区支部通信員発

千葉転支部は2月14日、拡大執行委員会を開催し、直ちに各班ごとの個別オルグに入った。

「人を減らす一方で超勤ダイヤを組むなんて目茶苦茶だ」「安全を考えない労働強化で重大事故が起ころぞ」などと、「60・3ダイヤ」に組合員の怒りが集中した。

いよいよ20日、始発時より第一波闘争に突入した。午前7時を過ぎると、闘い終えた明けの組合員が続々と帰ってくる。「疲れた、疲れた」を連発しながらも、どの顔も精一杯やりぬいた満足感で輝いている。初めて闘争を経験する若い組合員も、「やったぞ」と声をはずませる。

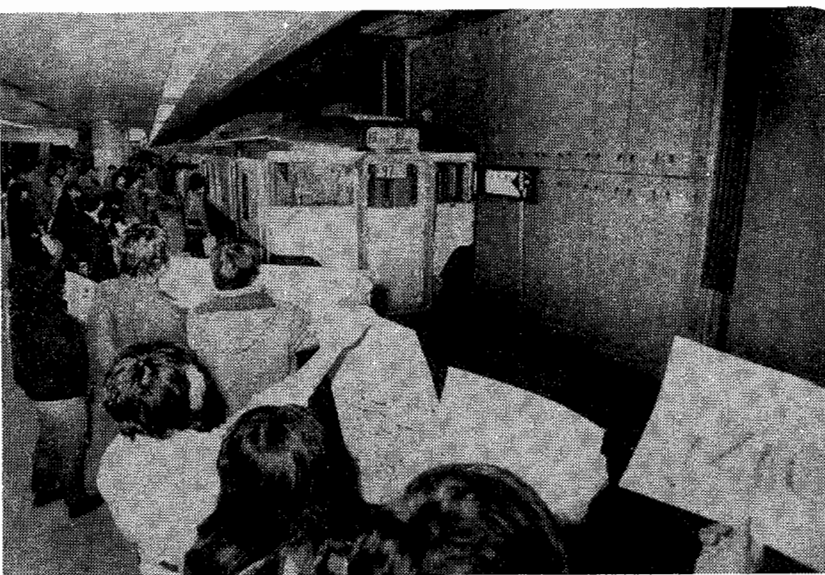


▲役員を先頭に3つ班。(2月18日朝)

### きめ細かい取り組みで 第一波闘争をやりぬく

#### 新小岩支部通信員発

新小岩支部は2月12日、13時より組合員50数名の出席のもと職場集会を開催しました。松崎支部長より「60・3ダイヤ改」についての交渉経過と取り組みの報告をうけ、本部片岡組織部長より国鉄当局のうち出した「経営改革のための基本方策」の反動性について説明をうけ、出席者一人一人が情勢の厳しさについての認識をあらたにし、全員が一致団結し闘う決意を固めました。さらに、15日より開始した個別オルグにお



千葉運転区乗務員が担当する総武快速線、東京駅で労働者が「教訓」。(2月20日)

すさまじい要員削減と労働強化を強制する「60・3」へのわれわれの怒りは、指令一本で全線を無ダイヤ状態にしてしまえるほど煮えくり返っているのだ。

国鉄労働運動の現状は、「鬼の動労」ならぬ「当局の忠犬」と化した動労「本部」革マルに代表されるように総屈服状態にあるが、われわれの闘いは組織力、団結力をさらにうち固め、労働運動の原点にたつて闘えば必ず勝利する展望が拓けることを示したといえる。

いては、「60・3ダイヤ改」攻撃について細部にわたって話し合いを行い、非協力・安全確認行動実施にむけ準備体制を確立してきました。

第一波闘争の勝利にむけ、青年部を中心に新小岩駅頭において動労千葉のピラをまき、安全確認行動への理解と協力を訴えました。

また葛飾区労協の国鉄民営・分割化反対の駅頭ピラまき行動にも積極的に取り組みました。こうして突入した第一波闘争は、執行部が箠城し、主体的に闘う乗務員を激励して送り出すなど、きめ細かい取り組みを行いました。

全員で闘いを貫徹したことが、当局の「60・3」強行を阻止できたのであり、組合要求をかちとるまでさらに闘いぬく決意をうちかためています。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！